

通訳案内士のあり方に関する懇談会

増加する外国人旅行者に対応した通訳案内士のあり方を検討するため、関係者の幅広い意見を頂くと共に、意見交換・認識共有の場の設置を目的として、「通訳案内士のあり方に関する懇談会」を設置。

○メンバー：

通訳案内士団体、旅行業者、ホテル業者、地方自治体、ボランティアガイド団体、JNTO、観光庁

○スケジュール：

第1回 11月19日 通訳案内士団体からのプレゼンテーション

第2回 12月11日 旅行業者、ホテル業者からのプレゼンテーション

第3回 1月27日 地方自治体、ボランティアガイド団体、JNTOからのプレゼンテーション

無資格ガイド対策に関する勉強会

無資格ガイド対策については、これまで罰則の強化や通訳ガイドに関する周知活動の実施、主要観光地における個別指導の実施など、各種対策を講じてきたところであるが、より一層の対策や厳格な取り締まりを求める声が強いことから、関係省庁と連携し、有効かつ現実的な無資格ガイド対策のあり方について検討。

通訳案内士のあり方検討調査

通訳案内士のあり方を検討するために必要な情報の収集を目的として実施

○調査項目

- ・海外の旅行業者等に対する無資格通訳ガイド使用実態の把握
- ・外国人旅行者に対するボランティアガイドの活動実態調査
- ・通訳ガイド制度以外の国家資格制度に関する調査
- ・海外における通訳ガイド制度の事例研究
- ・インバウンドに関する業務手配実態調査

通訳案内士のあり方に関する検討会(仮称)

訪日外国人が単独でも快適に旅行できるための受入環境整備の一環として、インバウンドビジネス全体を捉える中で、増加する訪日外国人に対応した通訳ガイドサービスの充実を図ることが必要。

数は増加しているものの言語的偏在や地域的偏在がある、雇用環境が不安定で登録者の多くは兼業又は未収業となっている、いわゆるスルーガイドなど無資格ガイド行為に対する有効な対応手段が確立されていない、など様々な課題が指摘されており、これらを整理した上で、そのあり方を議論。